

関西を思った土地は、
大阪でも、
神戸でもなく京都。
今のところ、片思い、
でも、根付いてみせる。
まずはご意見拝聴。



思いを込めた三条通りの、関西初路面店を預かる店長の岡船さんと、No.2の店長代理・馬場直人さん。「京都に根付く」その大きな役割を果たしていくことになる

西隣には「URBAN RESEARCH」系のハイエンド・セレクトショップ「ROSSO」、東隣にはストリート系のセレクトショップ「Stavacation」、さらに向かいと言っている場所には、ユーストの雄「B's B's」。いずれも三条通り、いや京都屈指といっても良いショップが控えている、そのど真ん中に...。先「TORNADO MART WORLD」というショップがオープンした。それは、いかなる店なのか？

「お隣様で、'92年に小さく誕生した『スビック インターナショナル』は、今、日本全国の店舗でコンセプトの異なった8ブランドを展開するまでになりました。(中略)自然に「ありがとうございます」という言葉が出てまいります。(中略)この感謝の気持ちを何時までも忘れずに夢のある商品を送り出し続けていきたいと思っております。ありがとうございます」(オフィシャルウェブサイトを「代表メッセージ」より)。

店舗数は「トルネードマート」54、「トルネードマートファム」17、「トルネードマートワールド」2など、系列137店舗を数える。京都でも既に複合商業施設にテナントを構えてはいるが、メンズ・レディース複合店となる「トルネードマートワールド」の関西初出店は大阪でも、神戸でも



TORNADO MART OPENING RECEPTION

テーマはやっぱり、 刺激であるか。

ご近所さんになった、御幸町姉小路「park cafe」の牧野広志さんと、お馴染み「Ace cafe」と、麩屋町三条に系列店「garagara MOMIJI」を持つ木田豊さん。「土曜日の23:00、ドレスコードのある場所に着ていきたいね（牧野）」「日曜日の11:00、誰にも見られないところに（笑）（木田）」というインプレッション



同店の内装を手がけた株式会社シービーオーから知子さん（左）とみえサン。知子さんは「バイオリンとか、クラシックな感じの服ですね」と言い、みえサンは「土曜日にワインが飲めるバーに着ていく感じ」と評した



「mod's hair」にお勤めの増井一也さん、モードには造詣が深い職業ゆえ、厳しい目で観察だったろうか。「夜向けな感じでですね。シワ加工のシャツが気に入りました。やっぱり週末の夜、土曜の24:00とします」



祇園のイタリアンレストラン「Cara Pizzeria」から店長の青山聡さんが直々に、「刺激的な感じでですね。普段は緑がない、かも（笑）。40歳を前にして丸くなってきたんで、この白メガネに合わせてトガった感じは必要かもしれない。金曜日の24:35分に！」



こちらも三条堺町に「feel」という飲食店を構える、目と鼻の先のご近所さんとなったオーナーの中尾憲司さん。「エレガントですね。パーティが行われるところにぜひ、火曜日の22:00、ちなみに火曜日は定休日ですね。なるほど



く、京都に定めた。その理由を同社副社長の小野裕孝さんはこう説明する。「わずか15年の小さな成り上がりですから（笑）。今ここで我々が考えなければならぬのは、奇をてらわぬ恒久的なものなんです。それは伝統や文化という言葉になる。それをずっと考えていかなければ。そのために京都を選んだのだと。それが世界に勝っていくひとつの方法論なのだ。この店では売れる売れないということだけでは考えていなくて、いかに根付けるか、です」。

その思いに敬意を表して、本誌はこの日レセプションに集まった人々に質問してみた。

「トルネードマートの服を、何曜日の何時に着たいですか？」と。

そのコメント集をもつて、歓迎のページとした。改めて、ようこそ！京都へ。



木屋町は「shot bar Smooth」の江畑政洋さん。実は河原町OPA店の常連（「というほどじゃないですけど…」とご謙遜）で、「実は今日もパンツは履いてきました。木曜日の20:00！」と、こちらもご自身の休日の夜をご指定。笑顔に人の良さが滲み出てます